・それでは　ネンリンの発表を始めます

・まず初めに　メンバー紹介をさせていただきます

わたくし、リーダーのゆうな、ゆか、きの　がそれぞれ　フロントエンドとバックエンドを含めて用途や機能ごとに分担し　開発を行いました

・今回　わたしたちが　着目した問題は

退職後に自宅以外の居場所が　ない　と感じる高齢者多いこと　や

６５歳以上のひとの　いる世帯は　5,444万世帯に対し　そのうち　３４％が単独世帯、　２４．６％が夫婦のみの世帯であること

また　家族以外の他者との　交流がなくなってしまう　ことにより、　健康問題に発展　してしまうことです

・そこで　わたしたちは　高齢者が　身近な地域で　これまでの経験をいかして　　地域の支え手となり　社会的つながりを　維持するための　繋がりの場を提供する　アプリを開発しました

・シニアユーザーは　求人検索をすることで　自分でやりたい・興味のあることを　検索でき　応募することで　実際に募集をかけている　団体ユーザーと　繋がれます

・団体ユーザーは　シニアユーザー向けに　求人を登録し　募集をかけます

募集をした求人に　応募があると　シニアユーザーのプロフィール　をスコアリングし　スコアが高い順に　団体ユーザーへ　表示されます

・今回用いた　スコアリング方法は　業種や　職種　経験年数を　優先して　次に　社会的つながりが希薄であると　推測できる　内容でスコアリングしました

・それでは　ペルソナを例に　デモンストレーションを始めます。　シニアユーザーである　田中　花子さんは　英語の教師　として　２０年務めた　学校を　定年退職しました　しかし　趣味のガーデニングや　夫と２人の　生活に慣れてきたころ　もう一度　誰かに　英語を　教えたい　と考えるように　なりました。　しかし、　年齢から　週に２日ほど　で　家の近所で　教えられる　場所はないか　と　調べていたところ　NENRIN　を見つけ　検索してみることに　しました。  
もう一方で　田中さんの　住む　町内会の会長が　地域住民に向けてた　英会話教室を　開催したく　英会話講師を探していました　その時　NENRIN　に出会い　求人登録する　ことにしました

それでは　ゆかさん　実際にデモンストレーション　をお願いします